京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城雜感 片々生

◎今世紀は合同の時代乎 久しく歐羅巴の懸案問題たりし公果自由國は白耳義に併合致し、東歐のヘルツエゴヴイナ、ボスニヤは墺太利亞に合併致し、今亦南亞ナタール殖民地は八千票の多數を以て南亞合同案を可決したりとの事に候、何故に斯く合同が行はるゝに至り候かは聊か研究に價ひすべくと存候、惟ふに不鮮明なる國際關係は煩累のみ多くして事績の擧らざるより自然其關係を鮮明にするの必要を生じ來るに因る事と存候、是れ相互の利益に候、現に公果自由國は此必要の爲に合併致され候、英國の殖民地統一論も此處に原因することゝ存じ候、曖昧不鮮明なる國際關係は兎角紛擾のみ多くして其國の發展を害し候、殊に文明國が野蠻國を開發する上に於て最も此感深き事と存候、惟ふに今世紀に於ては尚ほ幾多の合同問題起ると共に之が解決を見るべしと存じ候。

◎新統監曾禰子 の評は不相變區々として毀譽紛々に候、子に同情する人々は曰く、子は樂天家なれば何事も頓着せざるが如くなれども、其實は多智にして膽力あり、盤根錯節の衝に當りて事を斷ずる雄膽に至りて當今の政治家中子の右に出るものなしとて司法大臣時代の敏勇、大藏大臣時代の日本銀行總裁を更迭したる例を引て頻に稱贊致し居候、反對する人々は曰く、彼は樂天家にもあらず何事も辨ずるの腦力なき爲に樂天家の如く見ゆるのみ、所謂盲目蛇に怖れざるの類のみ、井上侯の所謂馬鹿者也、故に彼は不謹愼の行爲を公々然とし爲す也と、斯る批評は毀譽共に極端にして吾人は何れにも與みせず候、要するに曾禰子は反對者の言ふが如く眞の馬鹿者には無之候、要領を得ざる所に要領を得居り候、彼の顔の平面なるが如く總てに圭角なく、公人としても個人としても圓滿平板に近く候、併し總てに於て平凡の二字は免る可らずと存候。

◎踏襲政策 は何時迄續く可きか、曾禰子在任中は一切現状を維持せらるべきか、夫れとも曾禰子は踏襲政策を破て自己の本領を發揮するの勇膽ありや世人の齊しく注目する所に候、如何に樂天平凡なりと雖も統監の印綬を帶びたる以上は依然無爲にして安閑とは致し居られまじく候、如何に伊公の政策を踏襲するの條件ありとするも其間多少曾禰流の鋒鋩閃かざるの否なしと思はれ候、子に大なる期待をなすは無理なれども少々位の事は顰み甲斐なきに非ずと存候、唯曾禰流鋒鋩閃露の程度の問題に候、少くとも地方政務の改善に一新機軸を出す位の事は可有之と存候、吾人が此事を子に期待するは強ち無理なる注文に非ずと存せられ候。

文苑

●官民共同歡迎會 一居留民

米國前副統領フェアバンクス氏近々入城せらるゝとの事だか、官民合同の大歡迎會を開きて同氏の韓國に對する意見を聞いてはドウだ、外國人と云へば統監府が受持の様になつて居るが、今度今から準備して居留民も一所になつて所謂國民的外交をやつてはドウだ、東京や大阪では近來外國人を歡迎するに市民が骨子となつて居るでないか、フェアバンクス氏は演説の様子で考へると仲々卓見家の様に思ふ、遠慮のない保護政治の批評をして貰ふことは必要である

●百人一首讀替（十八） まゝ乙女史投

●權中納言定家
人しれずみをもがきつゝ夕凪に
なひく煙りのまつ人も來ず

●従二位家隆
さゝらなる小川つたひの夕まぐれ
てらず螢の季ずすゝけき

●後鳥羽院
なきかづの人はれしけれ世の人は
頼みなき世ぞ恨しきかな

●順德院
いたはしさかたよく軒の誰かしる
昔にかはるこゝな重の室

●中納言家持
かさゝいてわたれる橋に雪ぞよる
白きを見れば冬は來にけり



佐倉宗吾 （百十） 眞龍齋貞水講演

そこで松平伊豆守は、證據の桶桝が御手に入り、殊に川喜多儀太郎と云ふ、生きた證人も現はれ出でましたに依つて、惡人玄蕃取調の時の、一の證據と思召して、御採上げに成つて居たのでございます、松平伊豆守ほどの智慧ある人が、堀田城代玄蕃如き者を取調べるのに、別段に證據立には及ばぬやうであるけれども、併し服罪をさせる迄の間に、延引くのと、延引かぬのとありますが、證據があればグウ／＼と行つて仕舞う、そこで右の川喜多儀太郎を御喚出に相成りましたから、儀太郎恐る／＼、御小人に従いて此處へ出て參りました時に、何うして天下の諸役人が、綺羅星の如くに御控へ遊ばす、御評定所の御砂利の上へ、恐れ入つて手を支へて居ると 伊「所りや川喜多儀太郎、面を上げろ」恐る／＼頭を上げました 伊「其方先頃より申し出でたる桶桝の儀は城代堀田玄蕃より、汝の父儀兵衛に對し申付けたる儀に相違あるまいな、儀「恐れながら申し上げ奉る、私父儀兵衛なる者に於いては當御領主土井大炊頭様御代より苗字帯刀御免の家系にございました、然る所、何かの御都合これ有りと、堀田様の御代と成りまして苗字帯刀の儀御許し是なく一時御差止と相成り居りましたるに當代城代玄蕃様が、此事を御知り遊ばし、父儀兵衛を喚ばれまして、汝の家は、代々苗字帯刀御免でありしが、堀田家御代に至り、苗字帯刀を取上げられしは氣の毒に存ずるに由つて、更に苗字帯刀を許して遣すと仰せられました誠に是まで嘆いて居りました家門の名譽が再び回復せらるゝ事と喜ひまして御受けを致しました、然る所、其代りに斯様なる桝を拵へとの仰せでございます、日本國中、御公儀の御規定に相成りました角桝を以て、御年貢米御上納に相成る事は、父儀兵衛も相辨へて居りますに由つて、再三御斷はり申し上げたるが、既に拵へなければ、其儀に於て父儀兵衛の一命も御取り遊ばすの御見幕に付き、是非なく右の桶桝の儀は、仰せに従ひ寸尺通り取計らつたことでございます、是は父儀兵衛の心中より出でたる事には是なく、此處へ御控への御城代玄蕃様の御指圖でございます、然る所秋年貢御上納の節、瀧澤村名主六郎兵衛、従來の角桝にて量ります時は、二桝余の量り出がございますのに此桶桝にて量ります時は、一升五合の減米でございますに由つて茲に一大騒動出來に及で如何とも仕様これ無所より上役人に於せられては御自分達の罪名を遁れんため此桶桝を拵へたるは、川喜多儀兵衛の所業なりと仰せられ残念ながら父儀兵衛は百姓衆の怨みを蒙り無實の罪名の下に、哀れ此の處に於て磔刑に處せられ、家財は悉く御引上げ、據ろなく吾々一家は、佐倉御城下追放の身となり、流浪いたし居りますに依つて、一日たりとも忘れる間暇なく居りました所、此度宗五郎殿願書を以て非道の役人様の儀を、御訴へ相成りましたを幸ひ、せめて父が惡名を雪ぎたく、其惡名だけなりと雪ぎたく、此桶桝を證據に、御願ひに出でましたる次第でございますれば、宜しく御調べの儀を御願ひ上げまする 伊「玄蕃、此の如き所の證人これ有る以上は、其方桶桝を以て年貢米取立てたる儀、覺ゑないとは云はれまい如何ぢや 玄「恐れながら右様なる儀は、毛頭玄蕃存じ申さぬ事でござる」飽迄も玄蕃が松平伊豆守の御前に於て、強情張らんとする時に、最前より兩眼血走り、唇の色を變へ睨め詰め居りましたる、岩橋村宗五郎、是に於て伊豆守様の御許しを蒙り、終に堀田玄蕃に向つて對決問答の一條と相成りまする。



寄書

韓國中央銀行論(十三)
ケーシー生

●韓國中央銀行は普通銀行業を兼營すべきや否や

此疑問に對しては余輩は即答して曰はん『斷じて兼營すべからず』と抑も中央銀行たるものが普通銀行業を兼營すべき性質のものにあらざるは分り切つたる自明の事柄にして[illegible]を解する人々の間に於て此種の疑問の起り得べき筈にあらざるも余輩が特に此問題を掲げて余白を費やす所以のものは決して徒爾にあらざるなり[illegible]施設經營を見るに[illegible]んど滑稽突飛に類し[illegible]るもの少からざる[illegible]すなからしめんと[illegible]提唱したるな[illegible]銀行營業の主體に關[illegible]あらしめよ

●正貨準備の保護者として●銀行の銀行として[illegible]第一なり多數[illegible]と其二なり而して[illegible]は主として後者の[illegible]の狀況に應じ資金[illegible]金融の調和圓滑[illegible]りとす換言すれは[illegible]回收何れも圓轉自在[illegible]の利損の如きは素[illegible]得さるなり此に於[illegible]再割引に向つて力[illegible]銀行を相手として[illegible]原則たるなり若[illegible]に反し個人取引を[illegible]て營業するありと[illegible]幼稚にして秩序整は[illegible]はらさる所にあり[illegible]るが故に如何に周[illegible]信用程度を鑑別する[illegible]知らす知らす商界[illegible]の額は膨脹の一方に[illegible]す固定澁滯に流れ[illegible]供給の源泉たる本分[illegible]之を果す能はさるの[illegible]るよりも明かなる[illegible]徴するも中央銀行の[illegible]規定を設けて嚴格な[illegible]の取扱に於ては大[illegible]非常特別の場合を除[illegible]して之を避け專ら[illegible]に向つて再割引を[illegible]の殆んど之なきな[illegible]非難を蒙りたる要[illegible]の職責を有しなが[illegible]せるにありしなり

●黒鉛の販路と産出

[illegible]水野領事に[illegible]りしことは先日の紙[illegible]在横濱の獨乙總領事[illegible]探堀權所有者並に最[illegible]近二ケ年間の産額等を其筋に問ひ合せ來りし由なるが韓國黒鉛の産額は左記の如く年々非常の速度を以て産出せらるゝに付ては今後世界に於ける黒鉛市場に於て頭角を表はすに至るべしと云ふ

隆熙元年度　百三十六万九千斤
同　二年度　千二百〇九萬七千百三十八斤

之を前年に比すれば約十倍の増額なるが三年度の産出も此の比例に依り増加すべき見込なりと

東京電報

▲曾禰統監拜謁　曾禰新統監は十八日東京出發渡韓するに就き本日參内　天皇、皇后兩陛下に拜謁御暇乞を申上げたり

▲東宮の午餐會　皇太子、同妃兩殿下は本日特に伊藤、曾禰の新舊統監を召され午餐會を開かせられたり

▲韓太子の招宴　韓國皇太子は伊藤、曾禰新舊統監を招き宴會を開かれたり(以上十七日午後發)

▲統監の東京發　曾禰統監は今十八日朝新橋を特別列車にて出發赴任の途に就きたり見送人盛なり

▲倉知局長辨明　韓國の三税問題拒絶に就て進歩黨非改革派の質問に對し倉知政務局長は答へて曰く統監府は日本人に對しては納税を強るも歐米人に對して先以て領事に通知すべく清國人には現に納税せしめつゝありと(以上十八日午後發)

某當局者語つて曰く「一昨年本邦金融界不穩の際第一銀行が普通銀行業を兼營するの結果政府當局をして第一銀行の業務に對し不安の念を抱かしめたるは僅かに今回紙幣發行權取上の動機の一となりたり」と以是之を見れば一銀の普通銀行業兼營が少なくとも發行權取上の有力なる論據となりしや疑なし果して而らば當局者は正に新設せられんとする中央銀行をして決して一銀の轍を踏ましむべきものに非ざるなり

外報一束

●佛國の震災詳報　佛蘭西南部地方に於ける震災は災害の最も甚だしき地方はプロヴアンスのエイクス市にして約五十名の死者を出せり尚同地にては十四日又もや激震あり又ツーロン港も大災害を蒙り乾渠にありし船舶は大震動を受けたりと

●伯國大統領逝去　伯剌西爾國大統領アッフオーンゾ、ペンナ博士逝去せり其結果國内に騒擾起らんとする虞ありと

●極東視察の希望　米國大統領タフト氏は國務卿ノックス氏若くは商工務卿チーシエル氏の孰れかゞ極東に赴き日清兩國官憲と會見し東洋に於ける目下の形勢に關し緊切なる觸接を遂げんことを望みつゝありされど此計畫を採るべきや否やは未定なる由

●日本人公判決定　十二日ホノルヽにて捕縛されたる日本人の内十二名は暴徒煽動の廉にて三名は謀殺未遂罪にて共に公判に附せられたり

雜報

●三税賦課と外人　三税の賦課に就きては日本人は統監府令を以て強行するに至りしも他の外國人に對しては統監府は昨今外務省に禀議し同省は目下各國の意嚮を問合せ中にて未だ解決するに至らずと云ふ

●三税と徴收手數料　日本人に對する三税の徴收は目下理事廳と度支部との間に於て交渉中なるが民團又は日本人會等の所在地にては之れを其の團体に委托すべき筈なるが徴收したる金の内より百分の二の手數料を徴收することゝすと

●中銀の設立期　韓國中央銀行新設の議は既に確定せるが其成立期に關し度支部當局者の談に依れば韓國中央銀行條令案は既に脱稿したるも株式の募集第一銀行との事務引繼交渉其他創立委員の任命等種々の手數を要するを以て到底今年中には設立困難なるべく早くて來年春頃なるべしといふ

●韓皇の贈與品　韓皇は伊藤公統監在職中の功勞を謝するため花瓶一對を贈らるべしとは既記せし所なるが右は目下漢城美術品製作工場に於て製造中なるが高さ九寸五分周尺一尺八寸の黄金製なりと其形は今より四千餘年前の清國皇室にて使用したる花瓶に形取り龍の彫刻に李花紋章二個を刻めるものなりと

●太皇帝の贈與品　太皇帝は伊藤公に紀念品を贈與せらるゝ筈にて目下漢城美術品製作工場にて製造中なるが贈與品は高さ一尺五寸の純銀製花瓶及ブランデー瓶各一對にて何れも竹梅の彫刻ある由價格は全部にて千三百圓なりといふ

●西南巡幸紀念品　韓皇の南西巡幸に關係したる日韓官民に對しては敍勳の議ありたるも右は沙汰止みとなりしが今回特に紀念品を贈らせらるゝ事に決し目下銀製花瓶三百三十一個及同酒盃六十九個を製造中なりと云ふ

●韓皇韓皇后の行啓　十七日午後三時より韓皇並に韓皇后には侍從及女官を隨へ秘園内なる養蠶所へ行啓蠶兒結繭の狀況を觀覽し侍從に種々下問其の好成績を喜ばせられたりと

●定例大臣會議開會　十七日李總理以下各大臣登閣定例大臣會議を開きたり

●元山民團長の辭任　元山居留民團民長川崎克氏は其筋に向て辭表提出中の處十七日付を以て許可されし由

●一進會の評議員會　十八日午後一時より一進會本部にて李會長以下評議員參集役員會を開ける由

●排日紙の發賣禁止　在浦鹽韓人の發行せる大東共報第四十二、三、四號は治安妨害の廉に依り今十八日發賣禁止を命ぜられたり

●財政會議の中止　度支部大臣は十八日午前十時より各道書記

●龍岩浦昨今の市況　目下同浦に碇泊する漁船日々五十隻を下らず爲めに全市の各商店共可なり繁忙を極め殊に遊園地の如きは頗る繁榮にして去歳結氷以來初めて愁眉を開けりと

曾禰新統監の決心

曾禰新統監が東京の或る新聞記者に語りたる談話といふを聞くに今度統監の大命を拜したが菲才を顧みて恐懼措く所を知らず此の上は益々鈍駑に鞭ちて聖明に答へ奉る外はない▲伊藤公の後を承けたのであるから例へば二三段目の相撲が一躍して天下の横綱の役を繼ぐやうなものである▲韓國施政の大方針は伊藤公の定めたものを踏襲する決心であるが細目に至りては固より韓國の事情如何に因りて今後屡々變更するものと思はねばならぬ歸任の上は下僚を督勵して十分活動せしむる決心である▲予が統監に任ぜられたら韓國内閣の更迭を爲すであらうといふものがある樣子なるも何等の失政もなく又現狀に於て閣員間の交情も親密なる現内閣を改造するの必要は更に認めぬ益奬勵して其任を盡さしむる方針である内閣更迭などゝは全くの浮説流言に過ぎぬ▲韓國施政は十分腰を据ゑ徐ろに確實に進歩を謀る積りである予の考ふる所にては今後五箇年間熱心に勉強したならば大体の施政は略眼目を備ふることゝなるであらう予は決して成功を急がぬ考である云々二三段目から横綱

●府令と韓政府　統監府は府令を以て三税の徴收を日本人に強行したるに就きては滯納者あるに當りて如何に之れを處分するかに對し昨今兩政府の間に協議中なるが韓國政府の成案は大体左の如きものなりと

一、滯納處分の管轄は納税地を管轄する理事官の管轄とす但し財産所在地を管轄する理事官に滯納處分の囑托を爲すことを得るは勿論とす

二、財務署長が理事官に對し滯納處分の請求を爲すは督促書に指定したる期限を經過するも尚納付せざる場合とす

三、滯納處分は日本の租税徴收法に依るべきものなれば租税の先取權及義務承繼等に關する日本國税徴收法の規定は當然準用せらるべきものとす即ち韓國々税と民團税と競合の場合は韓國々税は先取權あるものとす

四、犯則者に科する罰金及過料は日本の法

●暴徒官金を奪ふ　莞島財務署よりの報告に依れば同署員は葉錢納入の歸路暴徒に襲はれ該葉錢を掠奪せられたる由なり

●内相の警察署視察　朴内部大臣は十八日龍山警察署を視察したりと

醸造試驗場竣工期

度支部にては韓國に於ける酒類釀造の試驗をなす爲め西大門外孔德里へ釀造試驗場を設置することゝし曩きに之れが廳舍の建築に着手したるが愈々來る八月頃竣工すべし

●模範警察署の建築　警視廳にては京城の中央に模範的警察署を建設する筈にて其位置は中部パコタ公園の附近にて目下敷地の買收及起工に就ての準備中なりといふ

●引渡後の一銀行員　中央銀行設立し第一銀行韓國總支店を引揚ぐる場合に於ては行員の大部分は中央銀行に雇入らるゝ事となり居る由

官を度支部に召集し財政會議を開會する筈なりしが都合にて中止したりと

●一銀引渡交渉決定

韓國中央銀行問題に關する統監府對第一銀行交渉は十四日午前十一時鎭南阪統監邸に於いて開かれ第一側は澁澤男病氣に付佐々木勇之助、市原盛宏兩氏出頭し主人側は公爵の外荒井度支部次官列席して協商を重ねたる結果遂に大体に於て妥協纏り唯だ交換文書の字句修正を剩すのみとして第一の兩氏は午餐の饗應を受け午後三時前引取りたり而して協定の内容は左の如し

一、第一銀行は正貨準備三百萬圓を韓國中央銀行に引繼ぐ事

一、第一銀行は保證準備七百萬圓を韓國中央銀行に供託し其利子金又は商業上の益金を以て向ふ十六年間（或は二十年間と云ふ）に年々保證發行兌換券の償却を爲さしむ

一、右兌換券の償却を終りたる時は保證準備七百萬圓は韓國中央銀行より第一銀行に還附する事

一、第一銀行の兌換券發行權以外の營業上の債務債權は一切韓國中央銀行に於て無關係たる事

始め第一銀行の希望は國立銀行紙幣償却方法に倣ひ正貨保證兩準備を中央銀行に供託し其利子金を以て年々兌換券の償却を行ひ一定の年限後償却完了を俟て準備金全部一千萬圓を還附されんことに在りたれども統監府は是れ到底中央銀行の堪へ難き所と爲し斷然之れを拒絶し前記の提案の外別に一案を作りて第一銀行當局者に交渉したる末覺ひに前案に協定せりと云ふ參考のため其の別案なるものを左に掲ぐべし

一、第一銀行は債權に屬する正貨準備三百萬圓保證準備金七百萬圓合計一千萬圓と其債務に屬する兌換券一千萬圓を擧て韓國中央銀行に引繼ぐ事

一、韓國中央銀行は金七百萬圓を向ふ二十年間年々三十五萬圓宛第一銀行に賠償する事

●廣通舘の建築　度支部にては經濟上協議を要する會合、銀行家の集會其他公共の會合に充つる爲め曩きに鍾路に廣通舘を建築することゝし工事に着手し居りしが此程全部落成したる由其構造は煉瓦二階建にして七萬圓の經費を要し階上の會議室は百二十疊の大廣間なりと

●博覽會と水産物　日英博覽會の出品に對し韓國政府は各部に於て目下準備中なるが農商工部水産局に於ては漁船數、漁獲物、漁族分布、日本漁村、水産組合、漁業、水産製造業、海鹽及副産物等を目下調査中なりと

●木内次官の歸任　兼て東上中なりし木内農商工部次官は十七

令たる統監府令に背反したるに原因するものなれば理事廳の收入に歸し財務官署は之が交付を求むるを得ざるものとす

五、督促手數料及滯納税金は滯納處分を終了したる時財務官署は理事官より交付を受くるものとす

六、三税以外の地税其他の諸税は舊來の例に依るものとす

●一銀建物の處分　第一銀行は昨年來南大門通りに七百萬圓の工事費豫算にて銀行舍新築中なるが之が處分に關し某書記官は語つて曰く該建物新築計畫の際に於て將來中央銀行設立の際は買上ぐべきものなりと豫想し居たりしを以て其設計に關しては度支部と第一銀行との間に充分打合を濟まし工事に着手したる次第にて今月迄の工事費二十餘萬圓に達し居れば此は賠償金を一銀に處へ工事完成前に政府の買上ぐる筈なり而して中央銀行の資本金は一千万圓なるを以て全資本金の十分の一を割きて行舍を購入するは新設銀行に取りては一大難事なれば政府有として中央銀行に貸下ぐる方針なり云々と電通は報ず

●統監出迎と臨時列車　曾禰統監は廿二日午前十時聯絡船にて釜山着直ちに入京の豫定なる事は既報の如くなるが日韓の重なる官吏は出迎のため釜山に赴くもの少なからざるよりソレが爲め鐵道監理局にては臨時列車を發する由なり

●東拓の漁業者取扱法　東拓會社が漁業の經營を爲すに就ては農商工部と提携的の態度を取るべき由なるが今其内容に付聞く處に依れば東拓會社が漁業の權利を得たる地方に於ては團体の漁業者を移住せしむると同時に農商工部は未墾地の貸付又は拂下げを許可し會社は之れに永年賦の貸付金を爲し漁業と相俟て農事の經營を爲す筈なりといふ

●歸還軍隊輸送結了　十七日着釜の歸還隊は十八日出發せしが是にて歸還部隊の輸送は全く終了せり釜山民團にては軍隊には出來るだけの注意を拂ひ諸般の設備に於て本年度招待費の約三分の一を支出せりと

●牛皮材木輸出入高　去月中釜山港より日本へ輸出したる牛皮は七萬八千五百九十三枚價格一萬八千八百七十九圓なりと又同港に輸入せる材木價格は四十年は二十一万六千二百四十圓四十二年は二十萬八千二百六十六圓なりと

●勿禁日本人會認可　慶南道勿禁は近來邦人移住者増加し教育、衛生の普及を計るべきものあるに付き曩に同地の有志相謀り日本人會を設立せんとし之が委員を選定し理事廳へ陳情する所ありしが十六日を以て許可されたり

●仁川民團長の着任　仁川新任民長岩崎眞英氏は十八日夜仁川入港の信濃川丸にて着仁せし由なり

●南山本願寺青年會　南山本願寺にては十九日午後八時半より佛教青年會を開會する由なるが講演者は隈本中學校長なりと

●天氣豫報（自十八日午後六時至十九日午後六時）
北東の風曇
十八日　最高温度（華氏）八〇　最低温度　五六、三

●阪神觀光團歡迎會　京城大阪人會にては昨十八日午後三時より北米倉町和樂園に於て阪神觀光團の歡迎會を催うせしが却々の盛會なりしと

日午後八時十分南大門着の滊車にて歸任したるが出迎人は統監府各高等官市内有志者韓國側より趙、任の二大臣各部高等官等數十名なりしと云ふ

●辭令

補京城區裁判所判事、判事　小野政太郎
補釜山區裁判所檢事　檢事　野尻隣太郎
補京城地方裁判所檢事　檢事　羅晋
給六級俸（各通）
馬山理事廳通譯生　生島淸吉
依願免本官
仁川理事廳在勤統監府技師　矢田下次
出府を命ず

公人私人

▲工藤勇次（太田居留民總代）來京中の處十七日歸田
▲村上半三（長崎自由倉庫株式會社長）同日釜山へ
▲吉川岩喜（技師）同日平壤へ
▲内田竹三郎（滿韓實業協會主幹）同日新義州へ

近事片々

▲曾禰新統監曰く二三段目の相撲が横綱の役を繼ぐ如き者と謙遜す併し内心大得意▲亦曰く伊公の政策を踏襲するも細目に至ては今後屢々變せむと其間の機微を漏す▲一進會大韓協會の區別なく日韓兩國の利益に反する者は寸毫も假借せずと甚好爽▲國民新聞の東京便に曰く曾禰子は伊公の下に統監學校を卒業したりと是譏か誹か▲第二期の統監政治は保護の實効を奏するに有廟謨必ず定る所あらんと消息を漏す▲桂首相意氣昂然財政整理緒に就く爾後韓國經營を完ふせむと事實ならば甚賴母し▲國民子の所説と桂侯の言ふ所を對照すれば新統監の權限今後の施設思ひ察せらる▲是迄は伊公獨自の政策行はれ今後は桂侯の政策新統監を通じて行はるべきや否や▲隈伯曰く曾禰は貧乏鍋の如し飯を炊き菜も煮る湯も沸す農相法相藏相何でもムれ▲斯て男は人材拂底の世の中に重寶なるも今日は人材拂底ならずと暗に不適を諷す▲外交官中には若手の利者あり統監には此種の材を要すと不相變若手論を繰返せり▲大石正己氏曰く現今の統監政治は方針確立せず爲に適歸する所なしとは痛切の評▲寶蹟を擧るには韓國の政治は一際統監に引受け大臣に日本人を任命せよと是當然▲現在の統監は唯見張役に過ぎず寧ろ一のレシデントとして駐在せしむるがよしと▲流石は大石錢也韓國を見るの明あり▲往年防穀令談判の面影有統監の器ならんか▲フエアバンクス氏の米國發展談に曰く目下米國の富力は實に一萬三千億弗なりと▲昨年の貿易額三十二億五千萬弗也と其發展驚く可し人口は僅に日本に二倍弱也と▲長袖能く錢を多く錢能く買ふの理屈何と云ふても米國の富力は實に怖るべき者可羨也▲大統領タ氏は國務卿若しくは商工務卿をして日清兩國を視察せしむる企圖ありと▲極意は東洋の形勢に關し緊切なる觸接をなさしめむ爲め也と極東政策發展の手始

●黒鉛の販路と産出

韓國黒鉛の状況に付き在紐育の水野領事は其の開發方を依頼し來りしことは先日の紙上に掲載したるが今又在倫敦の獨乙總領事は黒鉛の所在地、名稱、採掘權所有者並に最近三ヶ年間の産額等を其筋に問ひ合せ來りし由なるが韓國黒鉛の産額は左記の如く年々非常の速度を以て産出せらるゝに付ては後世界に於ける黒鉛市場に於て頭角を表はすに至るべしと云ふ

隆熙元年度　百三十六萬九千斤
同　二年度　千二百〇九萬七千百三十八斤

之を前年に比すれば約十倍の増額なるが三年度の産出も此の比例に依り増加すべき見込なりと

●龍岩浦昨今の市況　目下同浦に碇泊する漁船日々五十隻を下らず爲めに全市の各商店共可なり繁忙を極め殊に遊園地の如きは頗る繁榮にして去歳結氷以來初めて愁眉を開けりと

●暴徒官金を奪ふ　莞島財務署よりの報告に依れば同署員は葉錢納入の歸路暴徒に襲はれ該葉錢を掠奪せられたる由なり

●內相の警察署視察　朴內部大臣は十八日龍山警察署を視察したりと



▲相談の相談▼

(ナンデモ質問に應ず)

●(問)韓國で文官普通試驗か或は裁判所書記の試驗を受くる處有之候哉至急御敎示を願ふ若し有るにすれば何月に有るや(一靑年)

●(答)裁判所書記試驗はありませんが文官普通試驗は統監府にて行ります併し本年は今の處行らぬ筈だそうです(一記者)

●總大將の李麟榮

▲十三道の暴徒を指揮せし

韓國暴徒の發起主謀者にして故首魁李康年申乙石、閔肯鎬等より推されて十三道倡義府元帥と稱せられ檄を遠く亞米利加に迄發し且數回統監府に公開狀を發送して暴威を全國に逞ふしたる暴徒總大將李麟榮は計畫蹉跌期に反し肱股の將多く殪され或は縛に就きたる爲め彼は近來其所在を晦まし或は滿州にありと云ひ或は北韓露領浦鹽に遁れたりと云ひ潜伏時機を覬望し居りしかば爾來我憲兵隊に於ては百方彼を追跡捜索中なりしに遂に本月七日忠淸北道尙州郡內に潜み居るを探知し太田分遣所憲兵の手に逮捕したり麟榮は年齡五十年餘京畿道驪州郡に生れ儒生の出にして漢學に長ず明治三十九年閔妃の復仇に名を藉り柳麟錫等と共に兵を擧げ以て當時の政府に反抗したることあり一昨年七月政變に際し衆に推されて倡義府元帥となり再び兵を擧ぐるに至りし者なり近く自ら兵を率ひて日本軍に對抗すること無かりしも隱然暴徒の大勢力たりしが遂に運命の盡きたるは暴徒の爲めには一大打擊たるべく之より十三道の暴徒も亦自然瓦解すべしとなり

●慰んで末賣る魂膽

▲女は女學生上りの美人
▲男は京城名代の惡漢者

仁川濱町二丁目歌舞伎座前中津屋と稱する下宿屋の二階に年の頃なら十七八の丸顏の女學生上りらしき女の毎日部屋にのみ閉ぢ籠り物頻ふ樣がドウ見ても何か仔細ありげなれば内々探つて見ると生れは大分縣にて久永おかつ(十八)と呼び鄕里にて女學校を卒業し本年四月姉に連れられ鳥致院まで來り姉の家に食客となり居たるが姉の家も近來思はしからぬにぞ食客の身の居苦しきまゝ京城壽町にて馬車屋を營める叔父の某を便りて上京し京城に暫らく足を止め家事の手傳をなしける中如何なる因縁にや向ふ側なる中野太兵衛方の乾分なる長野縣生の鍛冶松事笹井松二郎(三十)と云ふ惡漢に見初められ是非女房に貰いたしと嚴談を持ち掛けられしかば叔父は此の縁談を斷はりなば如何なる仇を受くるやも計られずされはとて嫌がるおかつを無理に松二郎に與へたるが松二郎は素より女房にする氣はなく暫し慰みたる後食ひ物にせん心なりしも豈夫京城にては賣り飛ばす譯にも行かざる爲め先頭よりおかつを連れて仁川に下り前記中津屋に下宿を取り松二郎は毎日猫島から花開洞方面を徘徊してはおかつの賣口を捜しつゝあるを知つてか知らずにかおかつは我身の行末を案じてさてこそ憂ひに沈み居る者なりと

●各大臣等の壽座行き

▲活動寫眞を觀るため

李總理大臣以下各部大臣及尹侍從院卿等は打連れて十七日夜壽町の演劇場壽座に赴き目下開演中のエムパテー商會の活動寫眞を見物し同十時退場夫れより一同は趙農相邸に立寄り左右兩夫人の歡待にて朝鮮素麵を啜りながら日本活動寫眞のチョシゴシなる事など打語らひ深更歸邸したりと

●肴屋の看板娘

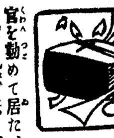
釜山南濱町に居住せる大分縣速見郡豊岡村生れ脇某と云ふ魚商を營める男あり夫婦の間にはお六とて當年十七歳になる一人娘あり此娘天性の美を有し釜山切つての美人として頗る評判高く其上素敵な手取者にて此娘の爲め手玉に取られたる男も既に數名の多きに及びけるが中にも同地金物屋の息子にて二十四五歳になる某とは互に深く思ひ思はれしが兩親も是れならばと大に喜び居たるも對手の金物屋兩親か不承知を唱へ倅を勘當してもお六と添しむる事出來ずと息捲きしに是れも仲裁する人ありて遂に兩人を一所にして別居させ居たるが元來浮氣性のお六は早くも情夫を拵へて頻りに逢引し居たるを某の知る所となり大に警戒中つい此程情夫とチン鴨を極め居たるを取押へられ今にヤッサモッサと紛紜中なりとかエチ美人には毒婦多き習ひなれば某も今の内に迷夢より醒めぬと聽て三日月お六の樣な恐るべき毒婦とならぬにも限らずと遙々釜山よりの通信を其儘

●酌婦の雲隱れ

旭町一丁目住の江方へ去る十二日抱へ込んだる酌婦は東京府下荏原郡の生れにて二俣キサ(三十)と云へるは脊の痩い色の淺黑い代りに鼻のニュッとした口元の締つた一見素人風の女なるが此奴見掛けに依らぬ中々太い奴で勤めて僅に七日振りの昨日午前九時頃彼れが情夫に近所に住居せる某家の店員たりし某と馴し合し已れが衣類其他荷物一切と外に抱主より借り居たる衣裳迄も持出し情夫某の許に潜伏し居たるを其筋の手に發見され說諭の上元の巢へ舞戾りたるがきさが酌婦となりたる原因並に逃走せし次第等に付き面黑き魂膽あれば追て掲載せん

●料理屋のお灸

明治町二丁目料理店林みや(四十)は去る十二日午前零時三十五分即ち公開時間後自宅客席に於て三味線を彈き客をして遊興せしめたるを巡行の警官に認められ告發されしが右は昨日南部署にて一圓五十錢の科料に處せられたり



紳士の遊興振

▲小宮三保松君

宮內府次官統監府參與官の君は曾て伊藤公が總理大臣たりし時秘書官を勤めて居た、此時代に於ける君の働き振が大に公の氣に入つたと見へ暫くして公の推撰で獨逸へ留學し歸來大審院檢事となつたのだ、君と公の關係は斯樣な譯で公が君をして至難中の至難たる韓國宮中肅淸の衝に當らしめたるも實は公が君に對して個人的信用を有するからだ、宮中肅淸と遊興振、之れを書くは君の威信を損する樣な感じもする、併し書かれて不都合な事は君に於て決して爲て居ないのである先づ君は多數の宴會の席では次官と云ふ肩書から何時でも床の間を脊負はされて居るので何もやらない只酒のみは西洋酒でも日本酒でも少々宛は呑む併し二三友人と小宴を開いた場合に君の友人は君に所望するに其の生地たる古河(下總)の名物小念佛踊を以てする、處が小念佛踊は洋行中にトント忘れて仕舞つたのだ、然るに意地の惡い友人は君を無藝なりと侮り大に強ゆると、然らばと云つて襟を正しタッタ一つを約束してはすものゝ長唄の勸進帳である君が音吐朗々『旅の衣は鈴掛の〜〜』と出した時には友人も藝妓も仲居も君の藝が遂く素人の境界を脱して居るのに驚く君の此匿藝は尙ほ君が平常表面處女の如くにして其實恐るべき政治的怪腕を有して居るのと同じである、それも其筈君は西洋流儀で令夫人の糸で少なくても一週間に二度は長唄のお稽古を爲て居るからである

次は池田長兵衛君

●スンデの事に　仁川仲町三丁目白木喜三郎方にて一昨夜午後九時頃二階の四疊半にて數名の小供遊戯をして居たるが其の中の一名が不圖した機に釣ランプを轉倒せし爲めたればランプは忽ち破裂し部屋の石油に火が移り將に大事に至らんとせしも近隣の人々集い來りて漸く消止めたり

●小兒の行衛搜索　旭町二丁目大宅和一郎長女よし子(五)は十七日午前十時頃遊びに行きたる儘午後三時頃に至るも更に歸宅せざるにぞ兩親は大に驚き其筋に搜索願を差出したるに同三時五十分頃に至りヒヨッコリ歸宅したれば兩親も初めて胸撫で下す

●龜屋支店の移轉　龜屋支店は流石老舖の本店を控わたるだけあつて日增しに繁榮に赴き從來の場所にては狹隘を感ずる程に至りたれば三越吳服店東筋向に移轉せり

●生草の刈取入札　京畿道高陽郡外四ヶ所の生草刈取權を漢城財務監督局にて競爭入札に附する由詳しくは廣告欄に有り

●香物と家庭(下)

糠味噌の中へ魚類の骨など入れると美味になると云ふのは事實であるが、此れは唯入れた丈では駄目だ、魚の頭なり骨なりを黑くなる程燒いて其れを細末に碎いて入れると臭氣がなくて味は美くなる、更に其の樽が醬油樽ならば毎月三度位いにお酒の三合もお入れになつて(糠を足す時がよし)上下善く〜攪拌して置きになると更に上等である一年に一度位ひ宛鰹節の二本程も細かく削つてお入れになれば申し分はないが斯うなると贅澤になり過ぎる、アミ(海老の小かきもの)の煮汁を冷して置いて入れるのも一法である、ダシ昆布を敷くのも一方法であるそうな。

斯くして此れに好みの野菜を漬け込む、今ならば大根、小蕪、胡瓜等何んでもよし、小蕪大根胡瓜等は朝漬けて翌日晝頃より翌々晩位迄が最も食べ頃であるから其心算で人數に應じてお見計ひが肝要である、夫れで成らうなら糠味噌だけは奧樣御自身お手掛けなさらないと不可ない、女中任せに致して置きますと臭味が手に染みるとか何んとかで滿足に手を入れない況んや上下攪拌すなぞ云ふことは致しません、夫れ故に於て香の物が不味くなる、副食物のお好みが出る、經費が多くなる、懷が苦しくなると云ふ結果を來すのである、隨押し、雷干し、大阪漬(一夜漬)等は取り出でゝ申し上げる程の事もない世間の奧樣は台所に出て何か云へば自身の價値が下る樣に思ふて居られる、是れは大なる間違ひである、旦那樣の御機嫌だけ取るのなら藝妓でもする子供の世話計りするのなら、子守りや乳母や小間遣ひもする、一家の主婦は夫れ以外更に家政の整理と云ふ大責任がある、其の第一歩は即ち臺所の整理である、臺所整理の第一歩は即ち漬物の整理にあると云ふことをお忘れない樣に希望する。梅やラッキョウや其の他の漬物のことは又改めて駄辨をたゝく事とします(むら)



演藝界

●京城座　梅花美團本日の替りは『大當り大連彩票』にして重なる役割左の如し婆お熊(橫山)幸次郎妹お花(東)園糸太夫(郡)誠間一八(眞都)警部(道畑)書生水島橋本新三郎(橋本)紙屑屋幸次郎(瀨川)幸次郎母おたしも(靑山)辯護士岩上增造(稻葉)歩兵曹長黑田隆次、遊人三次(いろは)

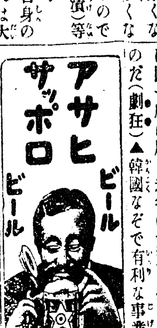
▲歌舞伎座　市當一座本日の替りは前『伽羅先代萩』切り『京人形』なるが米花の京人形は大に見物なるべし重なる役割左の如し細川勝元(貴笑)左甚五郎(福高)伊達民部(琴樂)松前鐵之助(雀三郎)八汐(三河屋)京人形(米花)沖の井(市川團)乳人政岡(歌之助)仁木彈正(市當)

▲永樂亭　は吉川家辰丸の浪花節にて十六日より開場の筈なりしに初日延期し居りしが愈今十九日より間違なく開演の筈

▲壽座　エムパテー商會の活動寫眞は好評にて連夜大入なり



▲六月十六日平民文庫指頭觀相生に誨う、餘り尻の穴の小さき心得哉指輪の意味を知れりや全体指輪は寶石入と紀念の止と二個はめるが至當だ三つ以上ならば兎に角二つなれば立派なる令夫人と見るが至當だヱへン、文句があれば(ドントコイ生)▲ヤ此奴は面白い兩方敗け玉ふな僕がついてるから(小僧)▲六月十一日第百三十二號俳句欄に牛像に雨乞ふ一村の白衣人といふ句は小生の句に非ずして虎耳君の近作に有之候へば愛吟者に御注意まで(怨堂)▲日本花嫁の著者田村君來る韓夫人爲めに御注意あれ(心配生)▲各所の淫賣窟も今日此の頃の不景に堪ね得ずして店を閉すもの頻々たり一面喜ぶべき事なりとするも又一面悲觀すべき社會現象ではあるまいか(白面郎)▲歌舞伎座の市當一座の女優米花は上手いものだ猶ほ同一座に居る老年の女形も勿々立派なものだ(劇狂)▲韓國なぞで有利な事業を官營にしたり又は或る種の事業に特殊の補助を與へて民業と競爭させたりすることは甚だ宜しくない机上の學問計りで民智の啓發が出來るものゝ樣に思ふのは間違ひだ現時の韓國では諸般方面の事業は悉く民營にして多少の弊は出やうとも思ふさま其の成すがまゝに放任する主義でなくては駄目だよ(小事業家)▲東京相撲が千秋樂になつたので一つ樂しみを失なつたと同時に肩が滅法界に凝つて居るのが分明つた(角力狂)



●天氣豫報(自十八日午後六時至十九日午後六時)

北東の風曇

十八日　最高溫度(華氏)八〇　最低溫度　五六、三

各種 洗濯石鹸 專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目 （電話九七三番）
朝日石鹸製造所

慈善演藝會趣旨書

抑も韓國京城孤兒院たるや創業已に五星霜の歴史を繰り返せり前秘書丞李芸和氏の如きは初めに殆んど其の資産を消蕩し盡せり爾來本月に日に内外慈善家に哀訴窮求し聊か糧を務て以て漸く維持養育し來りたる者也然るに現時該院内容に於ける定期收入金即ち韓國 太皇帝陛下より金百五十圓宛下賜せられ別に數十圓の恩惠ありと雖外更に金二百五六十圓の不足額に至つては其支給投資の途なきが故に大方慈家の御同情に訴へ窮急の御寄附を仰かさる可らさる悲慘たる慘境遇裡に呻吟しつゝあれり嗚呼其の家なく父母兄妹に棄てられし彼等孤客否な最も可憐薄命なる七十有五名の孤兒は今や將に凍に哭き飢に叫ふの死地に瀕する狀況に遭遇せり此に至つてか即ち人誰れか同情涙々濕溢たる血涙なき能はさる所以なり曩に我大帝國 皇太子殿下御渡韓に方り畏くも金五百圓を下賜あらせられたるの光榮に浴するや當時に有栖川宮、樣川殿長、田中宮内大臣、長谷川大將等の諸公よりも各々御寄附ありたりと雖ども是れ固より同院の孤兒養育費の外に家屋移轉、修繕、學校設備併せて器具什物の料に充て盡せり故是に近き將來皆當に餓死凍死の悲劇を演出するやも世に夫れ計り知る可らさるなり噫矣況んや斯くの如き多額の寄附金は常に復た之れあらさるなり現任院主李慈憐氏一家擧つて歎人朝夕左顧右眄或は西に哀訴し或は東に追從し以て漸く孤兒の饑餓凍餒を免かれ教育是れ專ら善用督勵しつゝあるの現況なるにあらすや今や韓國側に於ても有志者相集り同院維持の方法講究中なりと固と日韓兩國軍のに一葦帶水を隔て東洋に於ける唇齒輔車の關係を有す抑も不明無能の半島に於ける我等大國民の感想は如何抑も亦大東洋の未來に於ける健甲兵見たる一孤兒の成長や他日國家有爲の大材を出し半島の華盛頓を生し孤島の那破烈翁を産することなきや唯に夫れ計り知る可らさるのみ嗟呼彼れも人なり我も亦人なり何ぞ厭の異種異鄉の故を以て彼れに薄ふし此れに厚ふするの理之れあらん況しや博愛公共的眞意義は那邊に存するある乎我文明博愛多量なる大日本帝國民諸君は必す多情多血多涙、仁義博愛公道に富み給ふ朝日に匂ふ櫻花爛漫たる大和魂を荷へるの人にあらさるなき乎苟も東洋の關係否な日韓兩國の關係上可憐なる愛兒の狀態斯の如く危急存亡に漂ふの秋に方りては縱令の御寄附を乞ひ同院維持の一助たらんことを所期し茲に承乏の身不肖等不敏を顧みす倶に與に相謀りて慈善演藝會を開催する所以なり然り而して其の之れか所得金に至りては現實費を控除し殘額悉く之をれを同院に寄附せんとす惟ふに由來我邦人は義俠心に富み慈善心に篤きは特に他國人に冠たる所たり伏て希くは本會趣旨御賛同御入會あらんと懇願の至りに堪す不宜謹白

明治四十二年六月十一日

韓國京城孤兒院
慈善演藝會
主催者 前田祐次郎
同 久木田卯次郎
同 山崎勇熊

慈善演藝會開演藝題

初日番組
一、薩摩琵琶 二、劍舞 三、義太夫
四、藝妓踊 五、長唄 六、女小供手踊
七、落語 八、博多二輪加

二日目番組
一、筑前琵琶 二、文八手踊 三、義太夫
四、藝妓踊 五、長唄 六、西洋手品
七、新內 八、博多二輪加

三日目番組
一、劍舞 二、薩摩琵琶 三、義太夫
四、女小供手踊 五、長唄 六、藝妓踊
七、落語 八、博多二輪加

以上

右之通番組相定置候得共時間の都合に依り取捨伸縮可致哉も難計候に付き其際は何卒御諒恕被成下度此段得貴意候也
開演場所日時等開演三日前各新聞紙上に廣告可仕候

京城孤兒院慈善演藝會
主催者

右今回弊店に於て販賣開始仕候間續々御用命被仰付度先分大勉强御高需に應可申候

各種板類一切
及小割類種々
鴨緑江木材
京城本町四丁目
煙上支店 山本村太部

手摺石拔特別精白米
米利堅粉菓子粉洗粉諸穀
櫻麥挽割麥豆類其他雜穀
宅合名會社釀造清酒特約
茂木醬油會社白印醬油特約
大日本麥酒會社製品特約
洋酒洋菓和洋罐詰瓶詰類
字治銘茶紅茶コーヒー類
味噌漬物砂糖乾物海產物
眞綿小袖綿延綿燕綿繃
雨傘麻裏足袋石鹸諸雜貨

京城明治町一丁目
牧野豐田商店
附屬工場 牧野電力精米所
牧野電力製粉所
（電話二五三番）

訂正增補 第六版特價即賣廣告

大日本人名辭書

大本全一冊 （紙數二千七百五十頁） 定價金拾五圓
六月三十日限り ◉特別割引金九圓
但東京市外は小包郵便料四十八錢臺灣、清、韓、樺太七十錢を要す
本版は人員に於て四千三百餘名を増補し附するに諸系譜並に和漢洋年表を以てしたれば前版に比し一層本書の面目を新にせり、乞ふ此好機を逸せず速に御注文あらんことを、御送金の上は直ちに發送致すべく候
明治四十二年六月
東京京橋濁左衞門町七番地
電話新橋八十七番 振替東京二一二九番
合名會社 經濟雜誌社

寫眞養成所新設
志望者ハ六月三十日迄に申込アレ
郵券封入アレバ規則書進呈ス
龍山元町三丁目（電話參貳番）
芦谷審美館

元祖 消毒牛乳 殺菌
京城大和町壹丁目
玉山牧場
電話一三三

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計
米國アンソニヤ時計
明治時計製造會社
掛置時計韓國特約販賣店
時計自轉車御部 仁川本町三丁目 韓國代理販賣 喜多金光堂本店
時計小賣部 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話架設中

諸官衙御用品調達
各學校御用品調達

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南傳馬町一丁目十番地 電話新橋三九六二

內外科、眼科
花柳病科
入院隨意
本町六丁目五十番戶
瀧澤醫院
（電話七二二番）

貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行
危險擔保附運送 代金品付貨物運送

內國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番
仁川出張所 仁川驛前 電話五二一番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前 電話九三七番
龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇八番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間舊倍の御引立奉願候

京城南山町四丁目
原金旅館
（電話長一七〇番）

ビヤホール 共樂園
本町二丁目本町座跡
開業御披露
庭園の閑雅なる器具の清潔なる待遇の懇切なる低廉なる價格の
なるは共に我園の誇こする所なり

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

高等會席 冷ビール付
御一人前一圓
御披露
明治町三丁目（東拓會社下隣）
一力

焦心單志多年爲斯道雖於微義奧旨恍然似有得者能鑑推斷吸吸茫洋辭愈簡腸素面輕張也
易斷觀相數授 京城本町五丁目
通信判斷一件一圓特別二圓
三一館

眼科專門
京城本町一丁目參十四番戶
元鹿井跡 （電話三十三番）
江頭眼科醫院
醫學得業士 前漢城病院眼科部長 江頭富雄

◉氣候變化＝牛乳
◉牛乳＝良純＝消毒
韓國畜產株式會社
南大門外（電話八八番）

▲懇切の下宿▼
かめ屋

▲清潔の下宿▼
客室の清潔ご調理の美味ご御扱の懇切こを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）

●開業御披露●
會席御料理並仕出し
會席御一人前金五十錢
（但御酒一本附）
其他御客樣の御好に應じ調品仕候
尙來る十五日より開店御披露として向三日間福引券を呈す
六月
北米倉町（富田質店隣）
岡乃家
（電話架設中）

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、圖精酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、堪辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町二丁目電話三四四番 山村商店
龍山元町一丁目 電話三四八番 中村運送店

宮內府陸軍各病院御用 特約 純良 消毒 牛乳
荒井牧場
電話一〇五六番

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

◎釜山長崎門司神戸行 山東丸 七月四日午後三時出
◎大連、太沽、牛莊行 高砂丸 七月一日正午時出
◎大連、大沽、牛莊行 山東丸 六月二十二日前五時出
◎大連、大沽、牛莊行 酒田丸 月 日
◎釜山出帆、元山、浦潮、清津行

御注意 御乘船ノ際ハ波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 [illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新報社 電話六六三番